

埋め立て処分

分別しても資源化できないものを埋め立て処分

資源化

市内から集まる資源ごみや燃やせないごみなどを、種類ごとに分け新たな製品の原料へ



津市リサイクルセンター

集める・分ける

資源ごみ5品目
(新聞、雑誌など)

燃やせるごみ

金属・不燃、びん、
危険ごみ5品目(蛍光灯など)、
容器包装プラスチック、
ペットボトル、その他プラスチック

16品目に分別

分別が未来を変える
分ける、その先へ

津市地域脱炭素宣言 (令和4年8月19日)

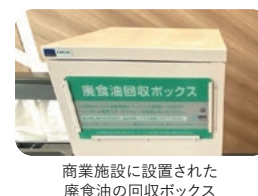


～我々は、具体的な脱炭素行動を実践・実行・実施していきます～

津市は2050年までに温室効果ガス*排出量を実質ゼロにすることを目指し、取り組みを進めています。

*二酸化炭素(CO2)やメタン(CH4)など、大気中の熱を吸収する性質のあるガス

リサイクル・リユースの推進



商業施設に設置された
廃食油の回収ボックス



羽毛製品を回収・資源化し
寄付金として福祉へ還元

再生可能エネルギーの活用



津市で導入している
小型電気自動車「C+pod」



太陽光発電設備の普及

プラスチックの資源循環



リサイクルPET樹脂を使用した
給食食器

地域脱炭素 パートナー との連携 (25者18協定)

事業所の脱炭素化



事業者へのセミナー



省エネ設備の導入

J-クレジット*の創出

*省エネや太陽光発電などで減らした二酸化炭素の量や、森林整備によって吸収した二酸化炭素の量を国が認証したもの。認証されたクレジットは、温室効果ガス排出量の削減目標の達成などに活用できます。



森林整備



環境負荷の少ない
コンクリートでまちづくり

2050年に向け
2030年度までに
温室効果ガス
48%削減
(2013年度比)

地域脱炭素 取り組み発信中！



69の参画者が挑戦中！
(企業51、団体14、個人4)

脱炭素に取り組む市民や事業者、団体などが集まり、情報交換や連携を進める場です。参加者同士がアイデアを出し合い、それぞれの強みを生かした新しい取り組みを生み出すことで、カーボンニュートラルの実現を目指しています。

地域脱炭素推進 プラットフォーム

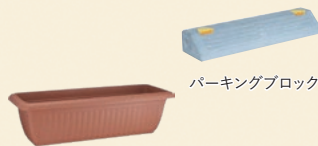
プラスチックの資源循環

その他プラスチック
(ポリバケツ、歯ブラシなど)

さまざまな製品に変身！



インクカートリッジを回収・再生



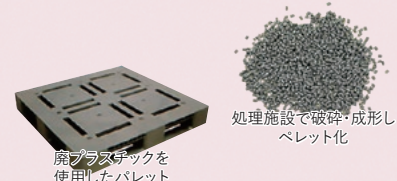
パーキングブロック

プランター

2,083tの
温室効果ガス削減
※焼却処理と比較

容器包装プラスチック
(トレイ、ボトル、ポリ袋など)

国の認定を受けて再商品化



処理施設で破砕・成形し
ペレット化

プラスチックから
新しい建材へ



プラごみと木くずを混合して作る革新的素材
「revia(レビア)」。レビアを使用したパネルは
大阪・関西万博のパビリオンでも採用。

2,346tの
温室効果ガス削減
※焼却処理と比較

ペットボトル

ボトル to ボトル



回収したペットボトルから
異物を取り除き圧縮



破砕・洗浄などを経て
ペットボトルの原料へ

2,260万本の
新しいペットボトルに！

547tの
温室効果ガス削減
※原油から製造した場合と比較

年間約**5,000t**の
温室効果ガスを削減
= 一般家庭の年間温室効果ガス排出量
約**2,000世帯**分

※数字は令和7年度実績から算出

みんなの分別が
未来を守って
いるんだね！



美杉町下之川地区の一般廃棄物最終処分場

最終処分場は
分別の積み重ねで
26年期限延長
平成28年4月に供用を開始した一般廃棄物最終処分場では、市民の皆さんの丁寧な分別やリサイクル技術の向上により、埋め立てるごみの量が大幅に減少しました。その結果、当初は令和12年度までとしていた使用期限は、地元の皆様のご理解とご協力により、令和38年度まで使える見込みとなりました。